

みんなで一緒に「エコアイランド宮古島」！

第4次宮古島市環境モデル都市行動計画（令和6年度～10年度）概要

宮古島市はいつまでも住み続けられる豊かな島を目指し「エコアイランド宮古島」を宣言しています。その一環として、平成21年に市全体で取り組む「環境モデル都市」行動計画を策定し、実践してきました。令和6年度からは、第4次計画期間に入ります。市民・事業者・観光客・行政、関係者みんなで一体となって取り組んでいきましょう！



第4次宮古島市環境モデル都市行動計画

基本的な考え方



宮古島市は平成21年に環境モデル都市に選定されたよ

これまでの取組成果や環境省脱炭素先行地域として選定された取組、再生可能エネルギー最大限導入計画の内容等を盛り込んだ計画です。現在は、業務・家庭部門の排出量が特に多い状況です。2015年からの観光客急増や建設工事の増加による温室効果ガスの排出量は増加傾向にある中で、観光振興との両立も課題となっています。CO₂等の抑制に加えて、生活コスト低減等の地域課題解決を図っていきます。

計画期間

2024年度
～2028年度

対象の主体

市民・事業者
・役所

対象の温室効果ガス

二酸化炭素 (CO₂)
メタン (CH₄)
一酸化二窒素 (N₂O)

目標年度（2003年度基準）

2030年（中間目標）…CO₂ 50%減
2050年（長期目標）…CO₂ 100%減

今後の行動計画を3つの柱にまとめました

1 市民一体となった省エネ対策の推進

■取組方針

島内で消費するエネルギーを削減するため、市民ひとりひとりが関わることができる省エネ対策を推進します。日常生活では意識しづらいエネルギーに関して、市民や企業の参画意識を高めながら、小さなことでも着実かつ継続的に取り組めるよう、仕組みづくりを進めます。

取組のポイント

- ・省エネ対策として、市民向けに啓発
- ・市民に対して、エコドライブを推進
- ・市民が楽しみながら学べるイベントの実施
- ・電気自動車の普及を促進

2 地産エネルギーの活用拡大

■取組方針

本市における系統電源の価格が高いことから、地域資源である太陽光、風力、バイオマス等の再生エネルギー電源のコスト優位性があるため、エネルギーの自給率を高め、原油価格等の外的要因による影響を最小化し、足腰の強い地域経済の構築を目指します。

取組のポイント

- ・太陽光発電及び風力発電を中心に、再生可能エネルギーの最大限を導入
- ・上記と同時に、蓄電機能を最大限向上
- ・バイオマス等の自然エネルギー源も活用

3 市民主体のエコアイランド宮古島づくりと地域活性化

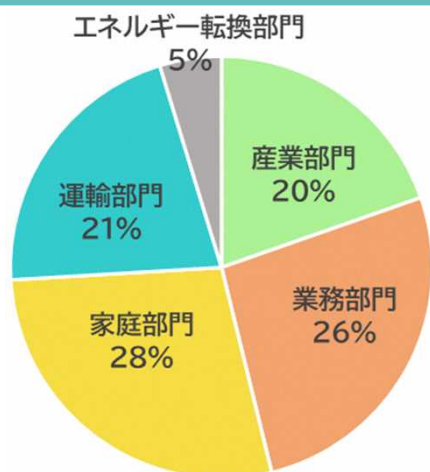
■取組方針

エコアイランド実現に対する市民や事業者の関心・参画を高め、官民共創プラットフォーム等を構築し、環境×社会×経済の視点をもったエコ活動の拡がりを図っていきます。

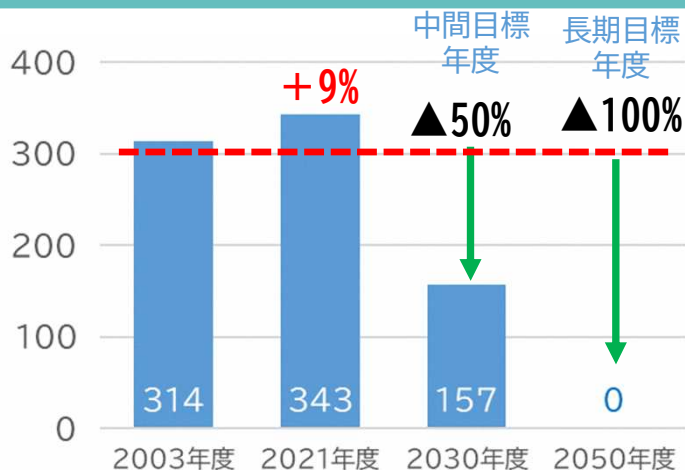
取組のポイント

- ・活動する市民や事業者等のモチベーション向上に繋げる仕掛けを創出
- ・市民発意のSDGsプロジェクトの創出支援を実施
- ・官民双方向のコミュニケーションの仕組み創出

宮古島市のCO2排出量と削減目標



2021年度のCO2排出量割合
(合計：343千t-CO₂)



CO2排出量の削減目標
(2023基準年 単位：千t-CO₂)

ゼロカーボンを見据えた再エネ導入

2050年太陽光発電導入目標： 179MW (メガワット)

2050年風力発電導入目標： 90MW (メガワット)

2050年省エネ推進目標： 30% **省エネ**

3つの柱ごとの主な事業内容



1 市民一体となった省エネ対策の推進

- ・省エネに向けた啓発（効果が大きい省エネ知識の啓発や普及促進）
- ・エコドライブの推進（エコドライブを浸透させるイベント等の実施）
- ・エコカーの普及（補助事業等による電気自動車の普及）

2 地産エネルギーの活用拡大

- ・脱炭素先行地域の取組実施（狩俣・下地における再エネ設備等の導入）
- ・太陽光発電の普及（市全体に太陽光と蓄電池設備を合わせて普及）
- ・風力発電やバイオマス活用（風力、バガス、バイオディーゼル等の活用）

3 市民主体のエコアイランド宮古島づくりと地域活性化

- ・企業版認定制度の構築・運用（エコアクション・カンパニー制度）
- ・官民共創プラットフォームの構築・運用（市民主体の事業創発）

※本資料の詳細は、市のホームページでの閲覧、又は下記へお問い合わせください。
問い合わせ先：宮古島市 企画政策部 エコアイランド推進課 TEL:0980-72-3751